

ニューCSスーパーワゴン

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださいますありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



Sサカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

お客様相談室  0120-575101

No.2039 22J-1

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、
次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

- 製品の等分布耐荷重（全体に均等に物を置いた場合）は、
120kg CSWA-606□
150kg CSWA-756□、607□、608□、906□
200kg CSWA-757□、907□、758□、908□
〔引出し等分布耐荷重（引出し全面に均等に物を置いた場合）
20kg/段〔安全荷重は5kg〕
積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。
安全荷重について…無負荷の状態では引出し等可動部を1段最大に引き出し、その前端に集中荷重を掛けた際、転倒をしない重さの合計をあらわします。(通常は均等に荷重をおかけください。)
- 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
- 使用中にネジやパーツのゆるみなどによるガタツキが生じたときは、締め直し、はめ直しをして下さい。ゆるんだまま使用していると、変形や破損及び転倒などの原因となります。
- 製品の分解・改造や部品をはずしたり、はずれたまま使用しないで下さい。
- 転倒防止のため、重い物は下段に入れて置いて下さい。
- 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
- スライド棚・引出しに物を載せたまま2つ以上引き出さないで下さい。またスライド棚・引出しのみに物を載せて引き出さないで下さい。バランスを失って、ワゴンが転倒する恐れがあります。安全荷重を設けていますが、安全に関わらず使用時は必ず均等に荷重をおかけ下さい。
- 引出しはゆっくりと引いて下さい。強く引きますとストッパー破損の原因となり抜け落ちる恐れがあります。また転倒の恐れもありますので絶対におやめ下さい。
- 引出しを引いたまま上から強く押させたり、重たい物を置いたり、踏み台として使用しないで下さい。故障や事故の原因となります。
- 偏った収納はしないで下さい。
- 床面ジュースタン、悪路、段差の有る所では使用しないで下さい。つまづき、キャスターの破損、転倒の恐れがあります。
- 収納物が、棚板よりはみ出した状態でのご使用になら

ないで下さい。落下等の事故の原因となります。

- この製品を設置するときは、必ずキャスターのストッパーをロックして下さい。
- この製品を移動するときは、キャスターのストッパーを解除して行って下さい。ただし、床に段差のあるところを移動するときは、落下や転倒の恐れがありますので注意して下さい。
- この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

- この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やサビの原因となりますので使用しないで下さい。
- 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品の上にハンダゴテ等、高温になった機具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。変色や変形の原因となります。
- 製品を水に濡れたままにしておきますとサビの原因となりますので、必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
- 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
- キャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
- 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
- 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。

汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

- 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
- 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
- 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。

※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。使用しますと表面材の損傷の原因となります。

組立方法

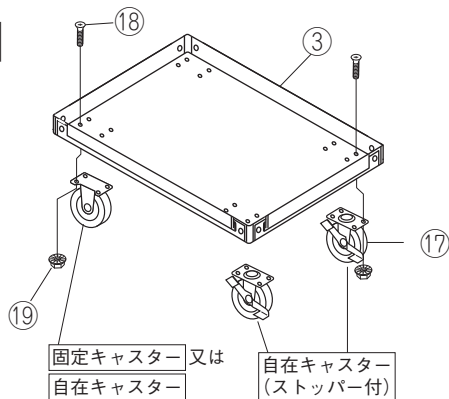
△注意

支柱と棚板の締付において附属の六角レンチを使用せず電動工具等を用いて締付する時は5 N.m で設定して下さい。
締付トルクが強いとネジ部の破損につながります。

【キャスター組立て方法】

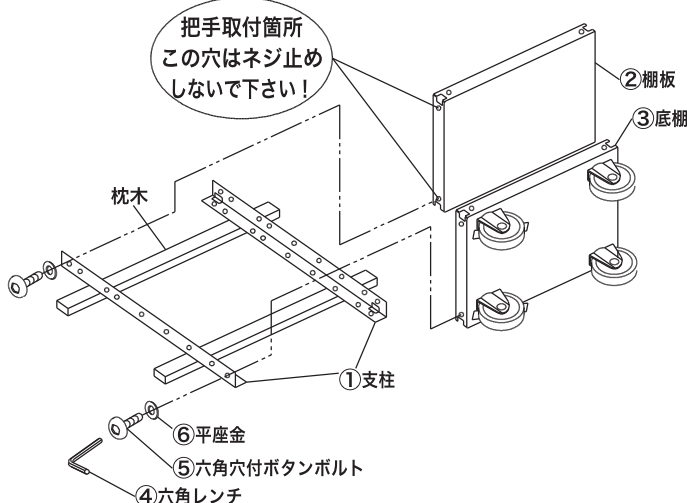
注) フロアストッパー付・フットブレーキ付については付属の取扱説明書を参照して下さい。

底棚③にキャスター⑰と十字穴付皿小ねじ⑱、セリート付フランジナット⑲ではずれない様にしっかりと締め付けて下さい。



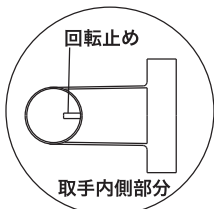
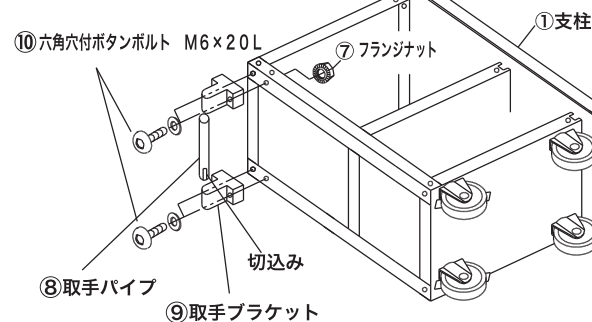
【棚板2段・3段タイプの場合の組立方法】

- 1 枕木の上に、支柱①を2本並べます。
各棚板②・底棚③と支柱①を六角棒レンチでボルトを仮止めします。



- 2 ①と同じ手順で反対側の支柱①を取付けます。
また、ワゴンの最上部に取手を取付けます。
最後に全てのネジを本締めします。

(取手ブラケット(左)に
取手の切り込み部を差し込み
ボルトで締め付けて下さい。)



【引出し付タイプの場合の組立方法】

《引出し1段タイプ》

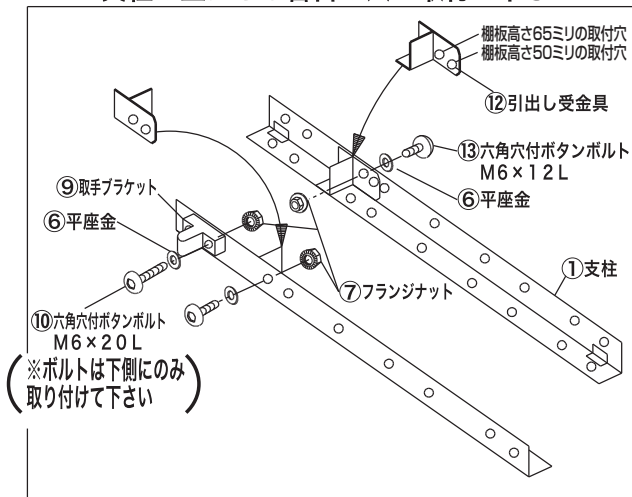
- 1 支柱①に引出し受金具⑫を六角穴付ボタンボルト⑬平座金⑥、フランジナット⑦で取付ます。

取手側にはあらかじめ、取手ブラケット⑨を六角穴付ボタンボルト⑩平座金⑥、フランジナット⑦で取付けます。

※ボルトは下側にのみ取り付けて下さい。

支柱4本共、同様に取付けて下さい。

※引出し受金具⑫は
支柱の上から3番目の穴に取付して下さい



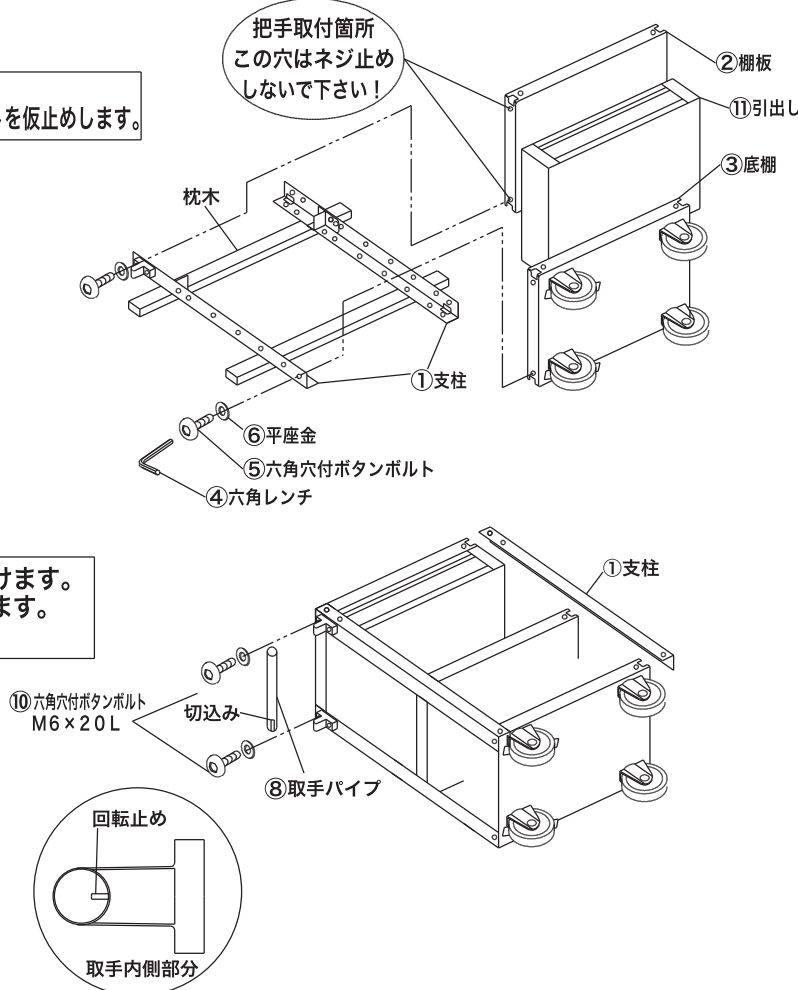
(※ボルトは下側にのみ
取り付けて下さい)

- 2 枕木の上に、支柱①を2本並べます。
各棚板②・底棚③と支柱①を六角棒レンチでボルトを仮止めします。

※引出し⑪は引出し受金具⑫上に置くだけ
になります

- 3 ①と同じ手順で反対側の支柱①を取付けます。
また、ワゴンの最上部に取手を取付けます。
最後に全てのネジを本締めします。

(取手ブラケット(左)に
取手の切り込み部を差し込み
ボルトで締め付けて下さい。)



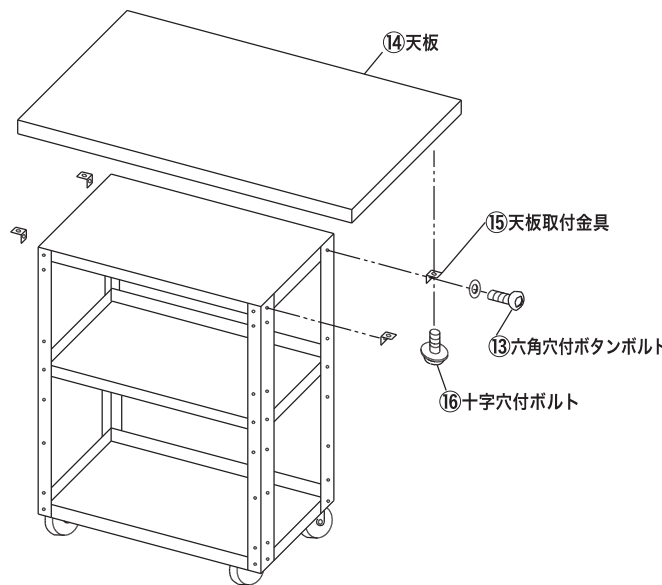
【天板付タイプの場合の組立方法】

- 1 棚板2段・3段タイプと同様の方法で
ワゴンを組み立て下さい。

組み上がりましたら本体を起こして下さい。

※取手は付きません。

- 2 天板取付金具⑮で本体と天板⑭をボルトで
締め付けて下さい。



部 品 明 細

番 号	品 名	1台分数量			
		棚板2段	棚板3段	引出し付	天板付
①	支柱	4	4	4	4
②	棚板	1	2	2	2
③	底棚	1	1	1	1
④	六角レンチ	1	1	1	1
⑤	六角穴付ボタンボルト(M6×10L)	14	22	22	20
⑥	平座金(M6用)	20	28	32	28
⑦	セリート付フランジナット(M6)	2	2	6	2
⑧	取手パイプ	1	1	1	—
⑨	取手ブラケット	L/R各1	L/R各1	L/R各1	—
⑩	六角穴付ボタンボルト M6×20L	4	4	4	—
⑪	引出し	—	—	1	—
⑫	引出し受金具(1段用)	—	—	L/R各2	—
⑬	六角穴付ボタンボルト(M6×12L)	—	—	4	—
⑭	天板	—	—	—	1
⑮	天板取付金具	—	—	—	4
⑯	十字穴付ボルト(座金付) M6×18L	—	—	—	4
⑰	キャスター(自在・固定)又はオール自在	4	4	4	4
⑱	十字穴付皿小ネジ(M8×18L)	16	16	16	16
⑲	セリート付フランジナット(M8)	16	16	16	16